

# 東北大学履修証明プログラム 臨床宗教教養講座及び 臨床宗教実践講座による

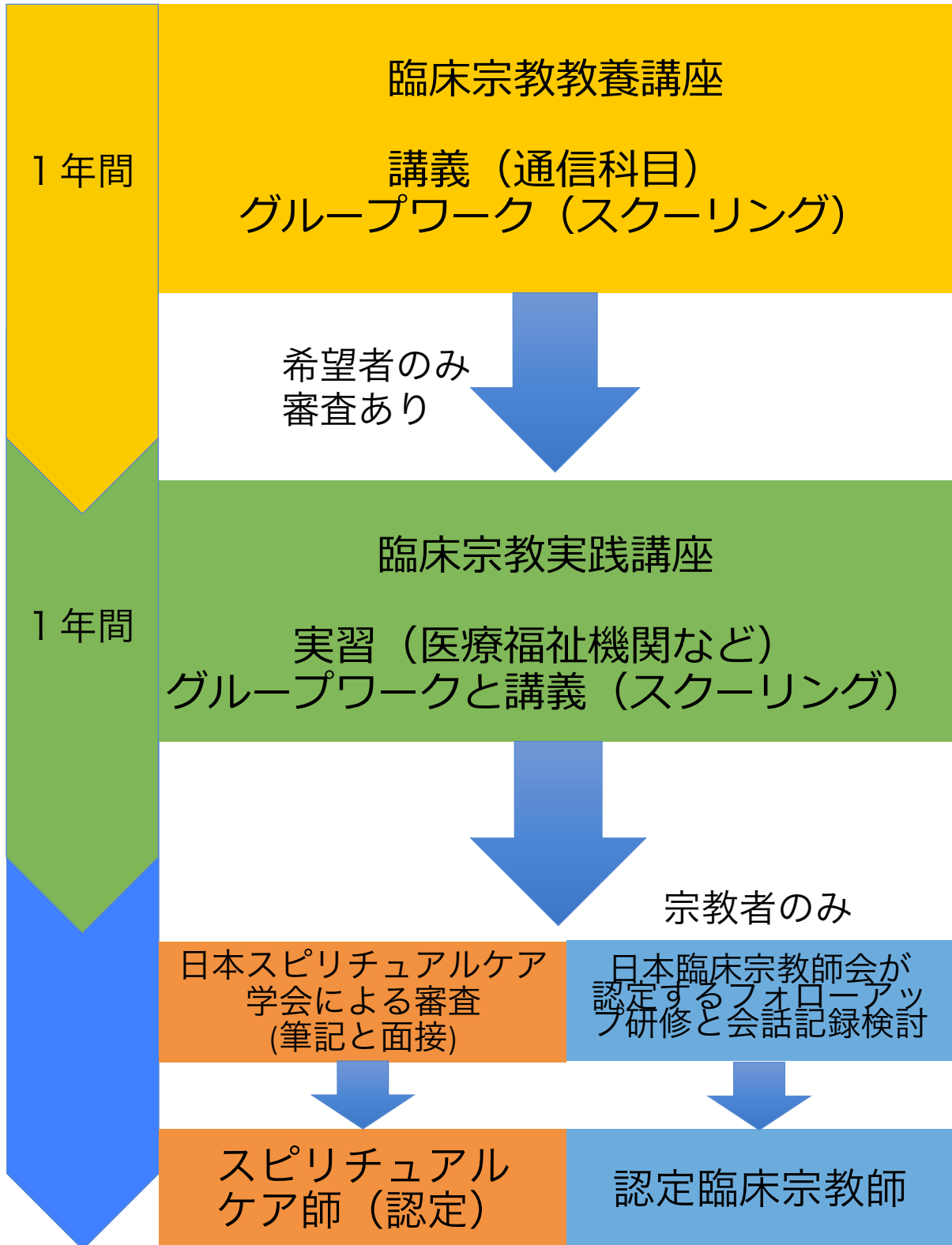
日本スピリチュアルケア学会  
「スピリチュアルケア師（認定）」  
資格申請及び  
日本臨床宗教師会「認定臨床宗教師」  
資格申請について

東北大学大学院文学研究科  
実践宗教学寄附講座

※履修証明プログラムは、社会人向けの教育プログラムです。  
全課程を修了した方には東北大学総長名の修了証が授与されます。

## 全体図

本履修証明プログラムは、2年間で資格取得をめざすコースです。



# スピリチュアルケア師（認定）

## スピリチュアルケア師（認定）資格

日本スピリチュアルケア学会は、2013年に資格認定制度をはじめ、2018年秋までは認定・専門・指導の暫定資格を認定しています。2019年からは正式な資格制度に移行します。

東北大学履修証明プログラム「臨床宗教教養講座」及び「臨床宗教実践講座」を修了することにより、「スピリチュアルケア師（認定）」正資格に申請することが出来ます。

## スピリチュアルケア師（認定）の資格申請基準 総計318時間

- ①基礎領域：「思想・宗教・伝統・文化」36時間、「心理・力動・援助」36時間、計72時間
- ②専門領域A：「スピリチュアリティ論」24時間、「スピリチュアルケア論」24時間、計48時間
- ③専門領域B：「グループワーク・臨床スーパーヴィジョン」60時間、「臨床実習」120時間、計180時間
- ④専門領域C：「スピリチュアリティの寛容」6時間、「継続教育」6時間、毎年12時間

上記のうち、臨床宗教教養講座で①72時間、②48時間、③のうち「グループワーク」30時間を、臨床宗教実践講座で③のうち「グループワーク・臨床スーパーヴィジョン」30時間と「臨床実習」120時間を、そして講座修了後のフォローアップ研修で④12時間を満たすことができます。

資格申請までに日本スピリチュアルケア学会に入会し、同学会よる審査（ペーパーテストと面接）に合格すると、「スピリチュアルケア師（認定）」正資格が授与されます。

同資格は5年更新制となっており、更新するためには以下の3点をクリアしなければなりません。

- a. 400時間以上の臨床活動
- b. 事例報告10本、うち5本は指導を受ける
- c. 同学会学術大会に2回以上参加する

# 認定臨床宗教師

## 認定臨床宗教師資格

日本臨床宗教師会は、2018年に資格認定制度をはじめます。東北大学履修証明プログラム「臨床宗教教養講座」及び「臨床宗教実践講座」を修了することにより、「認定臨床宗教師」資格に申請することが出来ます。

### 認定臨床宗教師の資格申請基準 総計70時間

①宗教者（信徒の相談に応じる立場にある者）であること

①講義：「基礎科目（倫理、宗教など）」10時間、「専門科目（スピリチュアルケア、グリーフケアなど）」10時間、計20時間

②実習：公共空間における臨床実習30時間

③演習：グループワーク・スーパービジョン20時間

④継続教育：フォローアップ研修参加と会話記録による指導

上記のうち、①20時間を臨床宗教教養講座で、②③を臨床宗教実践講座で、④を各地臨床宗教師会などが主催するフォローアップ研修で満たすことができます。

資格申請までに日本臨床宗教師会に入会し、審査を経て、「認定臨床宗教師」資格が授与されます。同資格は5年更新制となっています。

# 臨床宗教教養講座

## 1. プログラム概要

本講座は、スピリチュアルケア、グリーフケア、死生学、臨床宗教師について実践的な視点から学ぶ、通信教育とスクーリングによる1年間のコースです。通信教育による10単位（150時間）の講義と、夏と冬のスクーリング（15時間×2回）からなる、計180時間を受講していただきます。

超高齢多死社会を迎えている現代日本において、医療福祉分野においては死の不安への対応が不可欠となり、また東日本大震災後には悲嘆者への対応についての関心が高まっています。東北大学実践宗教学寄附講座では、公共空間での心のケアを提供する宗教者「臨床宗教師」を養成してきました。臨床宗教師との連携を進めるためにも、また、宗教者のみならず様々な立場から地域包括ケアシステムを支えるためにも、臨床宗教師やその実践に関わる知識を共有し、様々な分野での臨床応用に役立てていただきたいと思います。

## 2. 通信教育カリキュラム

東北大学インターネットスクール（ISTU）を活用した通信教育です。ISTUに登録された映像・音声・資料などのデータを受講者のパソコンやスマートフォンにダウンロードして、受講者にとって都合のいい時間に受講できます。視聴後はリアクションペーパーやレポートの提出によって学習内容を確認します。

カリキュラムは以下の通り（各15時間）です。

| 前期科目   | テーマ        | 後期科目    | テーマ        |
|--------|------------|---------|------------|
| 宗教学I   | ケア実践に見る宗教性 | 宗教学II   | 宗教と民俗、現代社会 |
| 死生学I   | 死から生を学ぶ    | 実践宗教学I  | スピリチュアリティ  |
| 死生学II  | 医療福祉における死  | 実践宗教学II | 臨床宗教師の実践報告 |
| 宗教心理学  | 宗教と心理療法    | 宗教福祉学   | 宗教と社会福祉    |
| 応用死生学I | グリーフケア     | 応用死生学II | スピリチュアルケア  |

# 臨床宗教教養講座

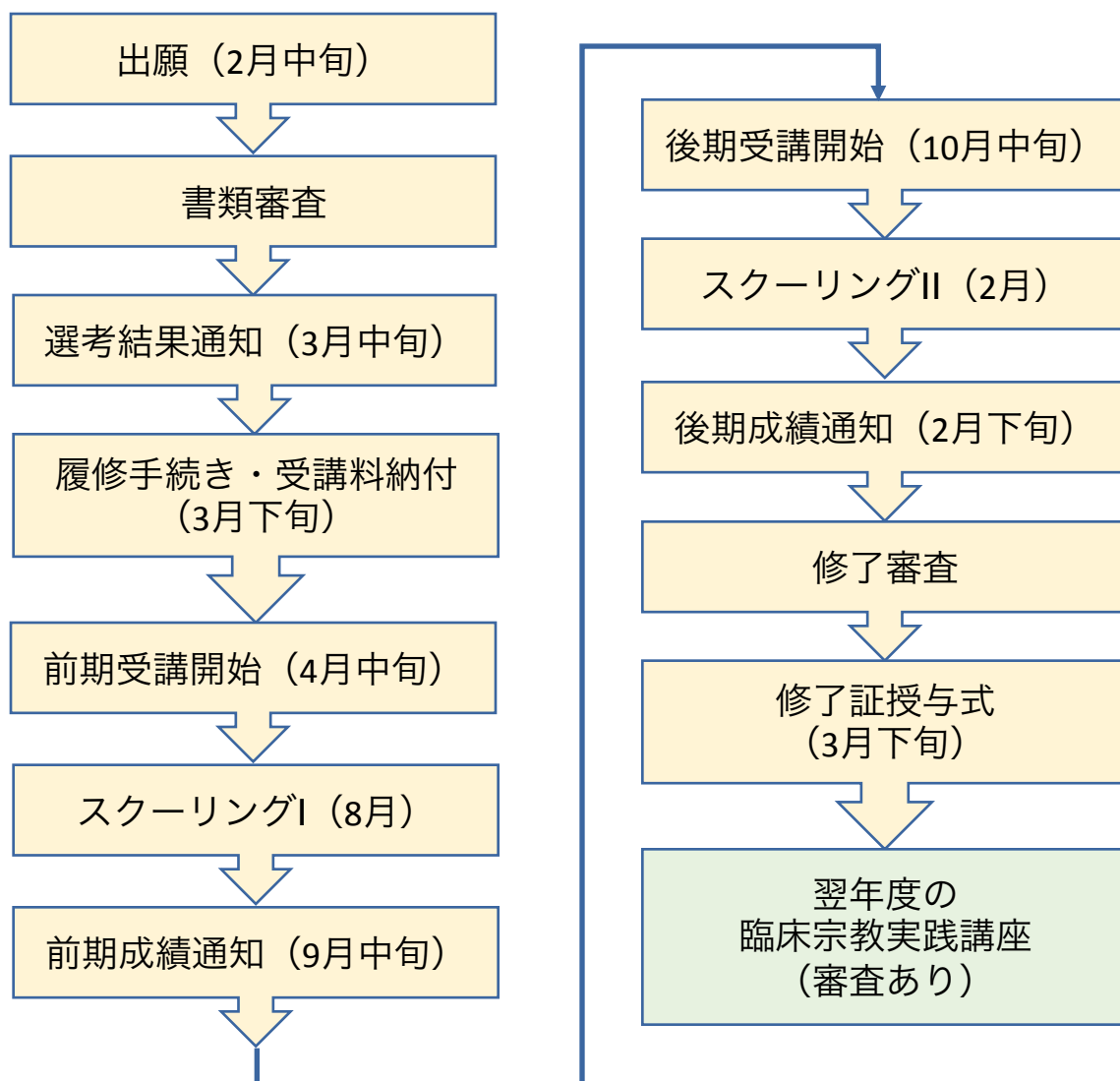
## 3. スクーリング

8月と2月に、東北大学川内キャンパスにおいて2日連続のスクーリングを行います。グループワークやディスカッションを通して体験的に学びを深めることができます。様々な立場の受講者と出会い、学び合い、交流できる機会でもあります。

カリキュラムは以下の通り（各15時間）です。

| 夏期科目 | テーマ        | 冬期科目   | テーマ       |
|------|------------|--------|-----------|
| 死生学Ⅲ | 死生観ワークショップ | 応用死生学Ⅲ | 傾聴ワークショップ |

## 4. 募集・履修の流れ



# 臨床宗教実践講座

## 1. プログラム概要

本講座は、スピリチュアルケア師、認定臨床宗教師（宗教者のみ）の資格申請を目指す、実習120時間、実習指導等グループワーク40時間、講義10時間からなる1年間のコースです。スピリチュアルケアの臨床を体験し、その体験に基づく会話記録を作成し、会話記録に基づいて実習指導を行います。

実習指導と講義は、5回のスクーリング（一泊二日）で実施します。（仙台近郊での合宿で、初日は12時頃に集合し、翌日17時頃に解散する予定）

これまで東北大学実践宗教学寄附講座では、公共空間での心のケアを提供する宗教者「臨床宗教師」を養成してきました。これまでの臨床宗教師研修の内容をより充実させ、日本スピリチュアルケア学会「スピリチュアルケア師（認定）」、（宗教者のみ）日本臨床宗教師会「認定臨床宗教師」資格を申請できるように整備した。臨床宗教師との連携を進めるためにも、また、宗教者のみならず様々な立場から地域包括ケアシステムを支えるためにも、スピリチュアルケアの普及に資するプログラムとなっています。

## 2. 講義

臨床宗教師の理念、倫理、セルフケアなど、より実践的な講義を通して、実習や実習指導の学習内容を体現、言語化することを促します。

## 3. グループワーク（演習）

実践講座の応募時に、生育歴や信仰歴をまとめたものを提出していただきます。グループワークでは、それらを基礎としつつ、ロールプレイ、研修振り返り、会話記録検討、自分史、自己課題などを通して、自分自身を見つめる作業を繰り返し行います。

| 主な講義     | テーマ      | 主な演習   | テーマ    |
|----------|----------|--------|--------|
| 臨床宗教師実践論 | 臨床宗教師の理念 | 臨床宗教演習 | ロールプレイ |
|          | 倫理ガイドライン |        | 会話記録検討 |
|          | ケアと人権    |        | 自分史    |
|          | セルフケア    |        | 自己課題   |

# 臨床宗教実践講座

## 4. 実習

週4～8時間程度の実習を定期的に行い、講座修了後の活動の場を確保しやすくするためにも、原則として、実習受け入れ機関（実習先）は受講者の居住地の近くで、受講者自身で確保してもらいます。交通費などは自己負担になります。

自分で見つけられない方には、実習先を紹介することができます。

※宮城県、福島県、新潟県、埼玉県、東京都、千葉県、岐阜県、三重県、大阪府、広島県、福岡県、熊本県にある医療福祉機関を実習先として紹介できます。

次の条件をすべて満たした活動・機関を実習先として認めることができます。上司の許可が得られるのであれば、勤務先でも構いません。

- ①公共性が担保された機関が主体となっている
- ②定期的に活動が行われている
- ③受講者の傾聴活動が許可される
- ④ケア対象者の会話記録作成が許可される

<推奨例> 医療機関、福祉施設、在宅ケアにおける傾聴活動

<検討が必要な例> 宗教団体が主体となっている活動（公共性の確認）、月1回程度開催の活動・被災地での活動（実習時間が確保できることを確認）、電話相談・カフェを含む各種相談サービス（情報提供主体ではなく傾聴主体の活動であることを確認）、勤務先（勤務時間内にするか時間外ボランティア扱いにするかを確認）、ボランティア先（会話記録作成が許可されるかを確認）



# 臨床宗教実践講座

## 5. スクーリング

5月、6月、7月、9月、11月の5回、宮城県内において2日連続のスクーリングを行います。講義や、会話記録検討などグループワークを通して実習での体験を振り返り、ケア能力の向上を図ります。

## 6. 出願・履修の流れ

